

氏名 (法人にあっては名称)	ゼロワットパワー株式会社
住所	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパスKOIL

自社等発電所(*1)の有無	有															
電気事業の概要	<p>1. 小売電気事業 バイオマス発電などの再生可能エネルギーを中心とした電気の小売事業を平成29年7月から実施しています。 供給地域は沖縄を含む全国です。 子会社のバイオマス発電書の電力の買取・販売を行っています。 他の小売電気事業者への再生可能エネルギーの卸販売も実施しています。</p> <p>2. 発電事業 令和4年7月よりLNG発電所による発電を開始。 将来的にカーボンニュートラル燃料へ転換予定。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電所からの調達について専任担当者を複数配置し、北海道エリアから沖縄エリアまで再生可能エネルギー調達に取り組んでいる。 バイオマス発電を推進するため、社内に構築・運用に関する組織を設置。 RE100に対応した、再生可能エネルギー電力プランを設定し、積極営業を展開。 環境マネジメントシステム (ISO14000) に基づく管理責任者を中心に目標設定および施策の実行管理を行っている。 															
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基礎排出係数(*2)</th> <th>調整後排出係数(*3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度実績 (2022年度)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>当年度目標 (2023年度)</td> <td>0.025 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>短期目標 (2024年度)</td> <td>0.020 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>長期目標 (2040年度)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)	前年度実績 (2022年度)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	当年度目標 (2023年度)	0.025 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	短期目標 (2024年度)	0.020 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	長期目標 (2040年度)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)
	年度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)													
	前年度実績 (2022年度)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)													
	当年度目標 (2023年度)	0.025 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)													
	短期目標 (2024年度)	0.020 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)													
長期目標 (2040年度)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)														
(目標に係る措置の考え方)																
原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針により、実排出係数を低減。																
環境価値をもつ再生可能エネルギーの調達により調整後排出係数を低減																

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(基礎二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したものから、電気事業者が排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2022年度)	17 (千kWh)	0.60 (%)
	当年度目標 (2023年度)	17 (千kWh)	0.60 (%)
	短期目標 (2024年度)	20 (千kWh)	0.65 (%)
	長期目標 (2040年度)	100 (千kWh)	3.00 (%)
(目標に係る措置の内容)			
令和4年度は広島市内への供給は横ばいとなる見込み。全体の供給量増に伴い、自社の再エネ比率は低下の見込み			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2022年度)	3,786 (千kWh)	68.50 (%)
	当年度目標 (2023年度)	3,749 (千kWh)	90.00 (%)
	短期目標 (2024年度)	4,089 (千kWh)	90.00 (%)
	長期目標 (2040年度)	9,199 (千kWh)	90.00 (%)
(目標に係る措置の内容)			
環境価値については、90%以上の確保を行う予定			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	全国の廃棄物発電所からの調達を推進し、15%以上の電力を調達。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	・高効率なガスタービンコンバインドサイクルによる発電により熱効率51%以上を維持。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	調整後CO2排出係数0.00 (kg-CO2/kWh)のメニュー利用の推奨を行っています。 希望するお客様向けに、電力利用状況を踏まえた節電のアドバイス等を行っています。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	・自動車からの温室効果ガス削減のため、社用車にハイブリッド車を導入する等の取り組みを行っています。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量及び他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することによって環境価値を有するもの並びに購入した再生可能エネルギー電気由来の環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。